



# 学薬のひろば



Vol. 010

## ☆☆☆ 新年度の目標と方針 ☆☆☆

愛知県学校薬剤師会 会長 大橋伸旭

学校薬剤師制度発足50年の節目に、新しい学校環境衛生の基準が改訂されました。4月の「薬苑」第513号、「学薬のひろば」をご覧頂いたものと存じます。新年度、先ずは新基準に基づいた検査表（様式1～8）給食関係定期検査表（第1票・第2票）を掲載しました。当分の間、このページをコピーしてお使い下さい。今後は、愛知県学薬と致しまして、この様式を標準として、ここに記載の項目は全て検査を実施し、報告いただくことを原則と致します。今年度は、改訂学校環境衛生基準による定期検査に加えて、学校敷地内禁煙に関連して禁煙サポーターとしての活動と薬物乱用防止活動を健康教育として、如何に児童生徒を対象として指導して行くか、新しい取り組みを実施すべく、検討しております。

新年度の始めに、お願いしたいことを冒頭にかかせていただきました。

最近の風潮傾向として、公費（税金）で賄われる諸々の支出について、適正であるかの批評や調査等が行われていることは会員の皆様には、既にご存じのことと存じますが、学校薬剤師活動についても、その社会的認識度が決して高いとは、言い得ない現状ではありますが、或る県立高校に於いての監査結果により、学校薬剤師報酬とその活動について、実際の活動の証拠となる報告が充分でないという評価を受けております。従来の対物管理という環境衛生活動の対価は、執務回数で評価されるものか、指導助言の内容はどの様に評価されるものか、今後、学校薬剤師が児童生徒に健康教育を実施して行くことは、学校保健法の対人管理の分野でも活動することになります。どの様な評価を得られるかと言うことは、その活動が社会（学校関係者等）で、どれだけ認識されているかということに帰すると考えられます。

また、学校薬剤師活動は従来まで、多くの学校では養護教諭を窓口として行うことが、当然のように考えられていたように思われますが如何でしょうか。勿論、これからも養護教諭の先生には、従来の慣習の通り、大変お世話になりますが、制度的には、保健主事の先生の関与が大切です。「保健主事とは、学校教育法施行規則第22条の4に規定された学校保健活動の企画・調整に当たる教員である。」ということです。学校薬剤師活動は、学校環境衛生の基準に示された定期検査等を実施することは、当然当たり前のことですが、担当学校における学校薬剤師職務に於いての位置づけを理解して、学校四役・保健主事・養護教諭との関係を良好に保つよう留意して戴きたく、切に、お願いいたします。

.....

## ☆ 新検査項目

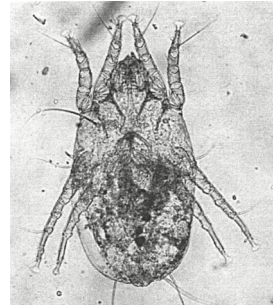
### 【ダニ又はダニアレルゲンについて】

近年、児童生徒の気管支喘息などのアレルギー性疾患が増加しておりこうした問題に対する対策が求められています。気管支喘息を初めとするアレルギー疾患の原因の1つにハウスダスト中のダニが挙げられ、生活環境中のダニアレルゲンを低レベルで維持することが最も効果的な方法であるとされています。そのためにはダニアレルゲンの存在とその濃度を知る必要があります。頻回に調査を行う必要があることから簡便な方法が求められています。

#### <代表的なダニ>



<コナヒョウヒダニ>



<ヤケヒョウヒダニ>

#### <ダニアレルゲンの種類>

現在ダニアレルゲンは「Der p1」「Der f1」「Der p2」「Der f2」の4種類で

「Der p」はヤケヒョウヒダニのことで p1 が糞由来、p2 が虫体由来のアレルゲン

「Der f」はコナヒョウヒダニのことで f1 が糞由来、f2 が虫体由来のアレルゲン

です。Der 1 は Der p1+Der f1 のアレルゲン量で、Der 2 は Der p2+Der f2 のアレルゲン量をいいます。

一般に Der 1 と Der 2 では Der 1 の方が

1. 糞は虫体より小さく気管に入りやすい
2. 糞は虫体よりも多いこと
3. 糞の方が活性が高い

といった理由で重要視されています。

#### <簡便な測定法>

1. ダストチェッカー ……コナヒョウヒダニ成分の一種を測定
2. マイティチェッカー ……コナヒョウヒダニの Der 2 を測定
3. 高純度ダニアレルゲン試薬 ……コナヒョウヒダニの Der f1,2 を測定

#### <マイティチェッカーの測定方法>

